



目次

◆ 本書のプレゼン技術習得方法	5
◆ はじめに	6

第1部 プレゼンとは？

1. 言うまでもないプレゼンの重要性	10
2. よいプレゼンで研究が好循環に！	11
3. “研究”発表とは？	12
4. よいプレゼンのためには？	13
5. どうやって習得すればいいの？	13
6. 本書籍のねらい	15

第2部 1つの原理と3つの技術

1. たった1つの原理原則	18
原理原則 すべてに「意図」があり、それを「操る」ことで「伝える」	18
2. 3つの技術	22
技術その1 コントラスト：伝えたいことだけめだたせる	23
技術その2 グループング：見えない“くくり”を意識する	25
技術その3 イラストレーション：文字でなく図解で伝える	28

3. “3つの技術”のいきつくところ	30
論理とデザインを一致させる	30

第3部 スライド修正ライブ !!

スライド作成における基本的な心構え	32
1. 背景・目的のスライド	34
■ 主張したいところが一番めだつように！	34
■ 「見えない線」をできるだけ減らす！	36
■ オブジェクトではなく“空白”を意識してデザインを	38
■ 文章を図で置き換える工夫を念頭に！	40
■ どんな文章も図で表現できるはず！	42
■ グルーピングで文字の量をグッと減らす！	44
2. 方法説明のスライド	46
■ 直感を活用する“上手な”スライド作りを！	46
■ 論理の流れとデザインを一致させる！	48
■ スライド内にメリハリをつける！	50
■ 図で語っていることを文字で語る必要はない！	52
■ 色を使いすぎると大事なところがめだたない！	54
3. 結果のスライド	56
■ データの羅列は人を眠くする！	56
■ 伝えるためのひと手間を惜しまない！	58
■ 強調の仕方より「区別の仕方」を工夫する！	60
■ 聴衆の目線に立つと改良箇所が見えてくる！	62
■ 配色ですっきり見せる表にする！	64
■ 結果の多数配置は表を作るイメージで！	66

- 結果の写真はプレゼンの命。できるだけ大きく！ 68
- 専門的な結果ほど容易に伝わる工夫を！ 70
- 「伝える」の上をいくのは「惹きつける」だ！ 72
- 自問自答で固定観念を突き破れ！ 74
- 丸や四角でイラストは簡単に作れます！ 76

4. まとめのスライド	78
■ 文字で書きたいところをがんばって図解に！	78
■ やたらと色をつけてはだめなんです！	80
■ 主語をはっきりさせるだけでグッとよくなる！	82
■ 一度、白紙に戻して“図解”を考えよう！	84
■ 結果と結論を混同しない！	86
■ 伝えたいことが正しく伝わる図解に！	88
■ 文章の羅列から少しでも脱却すべし！	90
5. その他のスライド	92
■ 1枚ものでも関心を引くさまざまなワザを！	92
■ 論理もデザインも理路整然と！	94
■ 主張したいことが伝わるスライドに！	96
■ テンプレートは強い味方！	98
■ 雰囲気や印象を前面にだすテクニックを！	100
■ 楽しい雰囲気を文字ではなく図で伝える！	102
■ 自分自身でデザインの引きだしをもつ！	104

第4部 プレゼン全般に関する Q&A

1. スライドのデザインに関する質問	108
Q1. 配色のセンスが僕にはありません	108
Q2. 全スライドに統一感をだすには？	110

Q3. スライドがごちゃごちゃしてしまう	111
Q4. 図解の仕方がわかりません	112
Q5. 強調の仕方がわかりません	113
Q6. どのフォントを使えばいいの？	114
2. プレゼンテーションに関する質問	116
Q7. デザインより内容が大事でしょ？	116
Q8. 場所に依存してプレゼンは変わる？	117
Q9. スライド枚数がすごく多くなる	118
Q10. 発表時間が長いと焦ります	120
Q11. スライド作成の上達方法を教えて	121
Q12. 「全然わからない」と言われる	122
Q13. ポスター作成の注意点は？	127
3. しゃべり方（トーク）に関する質問	128
Q14. 論理的に話せと言われます	128
Q15. 発表（トーク）のコツを教えて	130
Q16. 発表のときすごく緊張します	132
Q17. 質疑応答が一番怖いです	133
Q18. 異分野向け発表の注意点は？	134
Q19. ポスター発表のときの注意点は？	136
Q20. 英語発表のときの注意点は？	137
◆ おわりに	138